国家公務員　税務職員採用試験

～　「あたりまえのような安心」を支える　～

税務署の業務

納税者自らが申告・納付する「申告納税制度」を支えるため、税務署では大きく３つの業務を行っています。

- ○　国税に関する申告・手続等の相談や各種情報の提供、租税教室などの納税者サービス
- ○　法令に沿って適正に申告が行われているか確認するため、納税者に対する申告指導や税務調査
- ○　納期限までに納付しない滞納者に対する納付指導・督促・滞納処分（差押え、公売等）

国の財政を支えるスペシャリスト！

国税組織のネットワーク

国税事務を行う機関は、全国 524 の税務署、全国 12 の国税局（沖縄は国税事務所）と国税庁から成っています。
全体で約 54,000 人の職員を擁する官庁です。
仙台国税局採用者（試験区分「税務東北」）は、原則として東北６県にある税務署又は仙台国税局（宮城県仙台市）での勤務となります。

勤務地

税務職員は、平均３～５年で異動となりますが、勤務地については、職員の希望を十分考慮して人事配置が行われています。
地元に配置されている職員も多くいます。

税務署

国税庁や国税局の指導・監督の下、国税の賦課・徴収を行う執行機関であり、納税者の窓口として第一線で国税事務を担います。

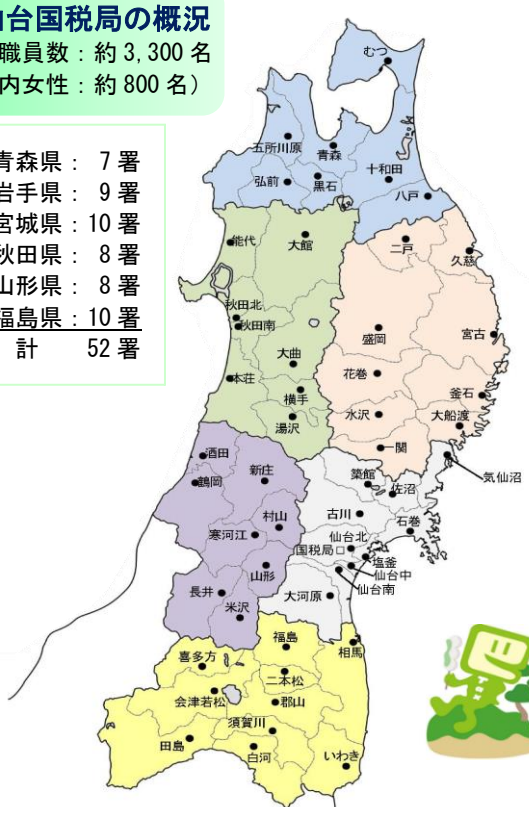
国税局

国税庁の地方支分部局であり、管轄内の税務署を指導・監督するほか、大規模・広域・困難事案の税務調査や滞納処分などを行います。

仙台国税局の概況

○職員数：約 3,300 名
（内女性：約 800 名）

青森県：	7 署
岩手県：	9 署
宮城県：	10 署
秋田県：	8 署
山形県：	8 署
福島県：	10 署
計	52 署



先輩職員のメッセージ

税務の職場は多くの知識が求められ、大変な仕事ですが、研修制度も充実しており、上司や先輩も快く指導してくれるので、楽しく知識の習得ができます。
就職に対しての不安は多いかもしれませんが、もしも税務の道を選ぼうとしているのなら、迷わず進んでください。どんなにつらいことがあっても、職場の仲間が必ず支えてくれます。
いつか、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

仙台北税務署個人課税第六部門
斉藤　優衣　（2019 年採用）
（令和５年４月現在）

税務職員業務説明動画

税務職員についてもっと詳しく知りたい方は、以下の業務説明動画をご覧ください！
仕事の内容のほか、研修制度、ワークライフバランスの取り組み、望まれる人物像、国税の職場の魅力などをご紹介しています。

税務職員業務説明会
【仙台国税局】

裏面では、研修生活やワークライフバランスについての先輩からのメッセージを掲載しています。

研修制度

私たちの職場では、税法や簿記会計など高度な専門知識が必要とされるため、体系的に充実した研修制度が設けられています。

○税務職員採用
↓
○普通科研修（１年）
↓
○税務署に配属
↓
○調査、徴収事務（３年）
税務署配属後も様々な研修を行い、知識・技能の向上を図っています。
↓
○中等科研修（３か月）

普通科研修での勉強

税務大学校において各税法のほか、民法や商法などの法律を学びます。

初めて学ぶことばかりですが、大学教授等による講義もあり、理解が深まります。

充実した研修制度

選抜試験に合格すると受講できる研修や、種類の豊富な通信研修など、自身のスキルアップが可能です。

採用までの流れ（2023年度）

- 6月19日 ・受験申込開始（～6月28日）※
- 9月3日 ・第１次試験（基礎能力試験・適正試験・作文試験）
- 10月5日 ・第１次試験合格者発表
- 10月中旬 ・第２次試験（人物試験・身体検査）
- 11月14日 ・最終合格者発表
- 11月中旬 ・採用面接（採用を希望する国税局で実施）

※　東北勤務を希望する方は、受験申込時に試験区分を「税務東北」としてください。

人事・福利厚生

私たちの職場は、高度な専門知識と技能を基に業務を行うため、一般行政職に比べ高い給与が設定されています。普通科研修終了後、税務署に配属されると税務職俸給表が適用され、一般行政職より高い給与が支給されます。

（令和４年度の場合）

	税務職	一般行政職	差額
採用時	（普通科研修入校時）154,600円	154,600円	0円
１年後	（普通科研修卒業時）177,200円	157,900円	19,300円

ワークライフバランス

○年間年次休暇取得目標 15 日以上
（仙台国税局における令和４年年次休暇取得平均日数：17.5日）

休暇が取得しやすいので、プライベートも充実させることができます。

○子育て支援制度が充実

子育て世代を支援する環境作りに努めているので、男性職員も女性職員も安心して仕事・育児を両立できます。

育児休業取得率　女性ほぼ 100%
　　男性　77.6%

普通科研修生活について

研修では、班での活動が多く、学習会や行事等で仲を深める機会が多くあります。

班員と協力して何かを成し遂げることは達成感もあり、いい思い出になります。

研修を通して成長したことは、失敗を恐れなくなったこと、自分から挨拶をするようになったことです。

税務署に配属になってからは、研修で学んだことをしっかりと実践することが大事だと思います。

仙台南税務署個人課税第二部門
田口　舞　（2019年採用）
（令和５年４月現在）

ワークライフバランスについて

税務署の勤務では基本的に残業はないため、子供のお迎えや、夕ご飯の支度もできます。

また、子育て世代を支援する体制が整っていることから幼稚園や学校の行事にも積極的に参加することができ、なにより子供が一番成長する時期を一緒に過ごすことができました。

私も子育て世代職員を同じようにサポートできる上司を目指します。

仙台国税局　人事第二課
村上　広孝　（2006年採用）
（令和５年４月現在）

仙台国税局採用実績

採用年度	採用者数
令和5年度	52名（18名）
令和4年度	55名（21名）
令和3年度	58名（25名）

（　）書きは女性の人数

内　訳	
①受験申込者	475名（174名）
1次試験合格者	166名（ 59名）
②最終合格者	110名（ 47名）
倍率（①/②）	4.3倍

先輩からのメッセージ

掲載している３名の先輩以外にも、税務の職場の第一線で活躍している先輩方から皆さんへのメッセージを掲載していますので、是非ご覧ください。

税務署見学

職員が働いている職場を見てみませんか。税務署見学は、最寄りの税務署（総務課）にお問い合わせください。

≪採用試験に関する問合せ先≫
仙台国税局　人事第二課　試験研修係
TEL：022-263-1111（内線 3236）